

## 政策評価調書(21年度実績)

政策名	多彩な県民文化・県民総スポーツの振興		政策の目的等	県民の文化活動を通じた心の豊かさの追求、地域文化の創造並びに先人から受け継がれてきた貴い文化の保存及び継承を通じて活力ある地域社会を形成し、「文化の香り高いふるさとをおいた」を創造する。 また、県民一人ひとりが生涯にわたり、スポーツに親しみ健康で活力にあふれる生活が送れるよう、スポーツ環境の整備とスポーツ人口の拡大をめざす。	主管部局名	企画振興部
	政策コード	V-3			担当課室名	文化スポーツ振興課

### 【政策を取り巻く社会経済情勢】

今後の動向	2002FIFAワールドカップや別府アルゲリッチ音楽祭といった世界的イベントの開催や、第63回国民体育大会、第8回全国障害者スポーツ大会の開催のほか、トップリーグに所属する4つのプロスポーツクラブの活躍などを通じて、県民の文化・スポーツに対する関心は高まりを見せている。特に、県民の健康志向や文化芸術活動への参加意欲は高まりつつあり、誰もがスポーツや文化芸術活動に気軽に取り組める身近な環境整備が求められている。一方で、過疎化・高齢化の進展により地域の伝統文化の継承や文化芸術活動の実施が困難になりつつある。 こうしたことから、今後は、文化・スポーツを取り巻く社会情勢を的確に把握し、それらの課題や社会ニーズに応じた文化芸術振興施策やスポーツ振興施策を積極的に展開するよう努めることとする。
-------	--

### 【政策を構成する施策の評価結果】

施策名		評価結果		政策との関連度
		業績評価	主管部局評価	
1	県民文化の創造	概ね達成	現状維持	◎
2	文化財・伝統文化の保存と活用	概ね達成	拡充	○
3	県民スポーツの振興	概ね達成	現状維持	◎
4	(大分らしい国体・全国障害者スポーツ大会の創造)	—	—	—

### 【構成する施策に対する意見・提言】

<p>○美術館建設について                  (平成21年度「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会委員発言要旨より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大分が感じられる美術館を建設すべきである。子どもたちに開放的な美術館であるべき</li> <li>・社会的弱者に対する措置(手話通訳、バリアフリーなど)を前面に打ち出した広報が必要である。</li> <li>・厳しい財政状況を踏まえ、美術館の新設には疑問がある。</li> <li>・日常的に来場しやすい美術館にしりピーターを増やすといい。学校との連携やボランティアネットワーク拡大が必要である。</li> </ul> <p>(平成21年度県政モニターからの意見(12月分)より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の文化の象徴として建設すべき。</li> <li>・美術館が建つと、文化が元気よく広まるとともに、県民にも覇気がでてくる。</li> </ul> <p>(平成21年度県政モニターからの意見(3月分)より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術品を県民に見てもらうには、巡回するのが最適では。</li> <li>・大分市に展示場が必要であれば、今回撤退する商業施設のフロアを用い、美術品の保存は芸術会館を引き続き使用すればよいのでは。</li> </ul>	<p>○その他                  (平成21年度県政モニターからの意見(8~9月分)より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・文化・芸術・スポーツ施設が県都大分市に集中しており不公平感がある。県民が芸術・文化面で公平に享受できる方策を検討してほしい。</li> </ul> <p>(平成22年度「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会委員発言要旨より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型地域スポーツクラブの活動が停滞してきている。作ることも大事だが、既存のものをどう活性化するか考えることも必要。</li> <li>・芝居等を見る機会に恵まれていない。学校の体育館でもよいので、本物の文化に触れる機会を増やせば、文化への関心度が高まるのでは。</li> </ul>
---	---